

# あかしや

## 発行所

公益社団法人 全国珠算教育連盟  
道央支部

〒064-0802

札幌市中央区南2条西25丁目2-19

TEL 011-644-1635

FAX 011-676-8668

syuzan04@rondo.ocn.ne.jp

<http://web-g.jp/douou88/>

発行者：支部長 下佐 和史

編集者：広報部長 中村 晴兆

## 新支部長 就任あいさつ

公益社団法人全国珠算教育連盟

道央支部 支部長 下佐 和史

初秋の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は支部の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

去る2月に行われた常任委員会、支部臨時総会において支部長に選任されました。

4期8年の検定部長3期6年の総務部長の経験を生かしながら執行部の皆様とともに微力ではありますが誠心誠意支部運営にあたりたいと思っております。

昨年8月定山溪温泉にて支部創立60周年記念行事を無事終了することができました。

60年もの長きにわたり先人達が幾多の困難を乗り越えて築き上げられた支部の歴史と意思を引き継ぎ、更なる発展のため最善の努力を尽くす所存でございます。どうぞお力添えを賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

全国どの支部でも少子高齢化による受験者数の減少と後継者問題が叫ばれております。当支部も例外ではなく、早急に取り組むべき課題の一つです。幸いにして今年度は将来有望な二人の入会があり嬉しく思っております。この流れを絶やすことなく続けることが我々の使命と考えます。

支部の運営資金のほとんどは検定交付金であります。全国の急激な落ち込みに反し、緩やかな上昇そして維持を続けておりましたが、ここ5年間の推移は、昨年度の年間受験者数は珠算では7%の減少、暗算においては10%の上昇となっています。7月検定では暗算も対前年比5.1%の落ち込みに転じています。上級検定での受験者増は難しいかもしれませんが、下級検定では

案外容易なのかもしれません。暗算検定を受験させていない先生方を含め、先生個々の考え方に委ねるしかありませんが、ご協力いただければ幸いです。

先月7月に新年度最初の行事である第54回道央珠算選手権大会がお陰様をもちまして無事成功裏に終えることができました。関係各位にこの場をお借りして改めてお礼申し上げます。また来る11月10日(日)にはホテルライフオート札幌において前三重県支部長の長尾計昌先生をお迎えし、『珠算教育は過去の価値の伝達ではなく、未来の新しい価値の創造にある』を演題(仮)に北海道6支部合同珠算指導者講習会を開催させていただきます。多数のご参加をお待ちしております。さらに来年1月12日(日)にはホテルライフオート札幌を会場に第42回北海道珠算選手権大会を当支部担当で開催の運びとなっております。

新元号の『令和』には「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められているそうです。長い歴史の中でその時その場での思いや願いは様々ですが、進むべき方向に違いはないはずです。支部繁栄のため今まで以上のご支援ご協力をお願い申し上げます。最後になりましたが会員の皆様のご健勝を祈念し、支部長就任の挨拶とさせていただきます。





# 令和元年度 全日本珠算選手権大会

令和元年8月8日 国立京都国際会館



## おめでとうございます

### 読上暗算競技 久保 新選手

### 見事、日本一に輝く!!

### 5桁～16桁 加減算

## 令和元年度成績 (道央支部関係分)

【個人総合競技】

第18位: 浅野 貴広 (1,480)

第18位: 計良 彩水 (1,480)

第38位: 久保 新 (1,460)

第53位: 若松 尚弘 (1,440)

第63位: 酒井 聡史 (1,425)

第83位: 中村 卓磨 (1,390)

【フラッシュ暗算競技】

第2位: 浅野 貴広

第3位: 若松 尚弘

第5位: 眞田 美歩

【読上暗算競技】

優勝: 久保 新

【読上算競技】

第7位: 浅野 貴広

## 令和元年度 全日本珠算選手権大会観戦記

札幌地区 一條 裕 幸

時: 令和元年8月8日(木), ところは例年と部屋は変わったものの同じ国立京都国際会館。今年も珠算界最大の競技会「全日本珠算選手権大会」が始まろうとしている。我々道央選手団は午前8時20分頃会場と同時に入場し、選手はそれぞれ自席に着き、引率として見学する高田直美競技部長・水越純子競技部員と私、加えて保護者数名も高田部長が確保してくれていた席に着き開会を待っている。午前9時、定刻に開会。開会式で前年日本一の堀内祥加選手の優勝旗返還に続き、読上暗算10回優勝の特別表彰がありました。この記録は松原景子選手の17回(偉大な記録です)・波多野優香選手の12回に次ぐ歴代3番目の記録です。この表彰が終わってすぐにフラッシュ暗算競技が開始され練習問題が1題出され本番開始。

1. 95秒に正答した11名が決勝へと進み、1. 65秒で昨年優勝して記録を更新した三重県の杵川日向雅選手が連覇を達成、引き続きギネス記録への挑戦で1. 64秒も見事正答、今年も記録達成が成し遂げられました。休憩を挟んでいよ

いよ総合競技の始まりです。計時→交換採点→日本一決定と進み、例年通り1,480点以上の25人の答案が回収され確認作業終了後8名の満点を取った選手が発表され、日本一決定のための決勝が始まりました。まずは暗算種目。乗暗・除暗・見暗それぞれ段位暗算検定の最後の5題分合計15題を制限時間40秒。できたら早押しボタンを押してタイムが記録されます。最初に押したのは栃木県の小川理緒選手で33. 620秒、2番目が青森県の斎藤俊選手の33. 674秒、3番目が宮城県の本命中の大本命土屋宏明選手で33. 694秒でした。採点の結果、斎藤俊選手は10点の失点。8名中6名が75点満点で珠算種目へと進みます。珠算種目も乗算・除算・見取算それぞれ段位珠算検定の最後の5題分合計15題を制限時間1分30秒。珠算種目で最初に押したのは、ただ1人1分を切って土屋宏明選手が59. 347秒、2番目が埼玉県の弥谷拓哉選手で1分5秒133、3番目が埼玉県の辻窪凛音選手で1分7秒682。審査の結果土屋選手・埼玉

県の原子弘務選手・弥谷選手が150点満点。暗算種目・珠算種目共に満点の225点は土屋選手と弥谷選手の2人。計算時間の合計でより早かった土屋選手が通算10度目の「そろばん日本一」に輝きました。次に多いのが往年の名選手で現在はこの大会で読上委員として活躍している木村英士選手の6回ですからいかに凄い記録かがよくわかります。続いて小学生日本一が発表され沖縄県の宜名眞幸大選手が1,465点で日本一となりました。引き続き読上暗算競技が開始され（休憩を取らずに進行するという無謀な運営でした）

1題目5桁～16桁加減算を道央の久保新選手がただ1人正答、本人は勿論初めてですが、道央支部としても37年ぶりで大塚裕幸選手（2回）、玉山速人選手（札幌の玉山武美先生の実弟で史上4位の6回優勝）に次いで3人目で8回目、16桁になってからは初めての、「読上暗算日本一」に輝きました。続いて読上算競技が開始され1題目7桁～16桁加減算は正答者はなし。2題目同じく7桁～16桁加算の問題で2名正答し競技続行、その後4題目で広島県の紙野大樹選手が正答しこちらも見事な初優勝となりました。最後は都道府県対抗競技です。7月28日・8月4日と大会前日の8月7日の3回練習を重ね、前日の練習では埼玉県の代表選手3名・神奈川県代表選手1名（一昨年の講習会の講師大関一誠選手）に道央の他の2名の選手を加え本番同様3チームで練習をしました。その結果見事に3支部とも初戦（2回戦）を勝ち上がり準決勝へと駒を進めました。準決勝では道央は惜しくも2位となり決勝進出を逃しました。埼玉・神奈川も残念ながら敗れてしまい、一緒に練習した3チームともここで姿を消すこととなりました。ただ、道央が敗れた奈良県が決勝で都道府県対抗優勝の常連沖縄県（過去5回優勝）、過去最多優勝14回の大阪を破り天晴れな初優勝を成し遂げました。その結果道央は準優勝に匹敵する敗戦だったといえると思います。道央の選手達はまだまだ若いし層も厚いので来年以降また期待したいと思います。全ての競技が終了し、成績発表・表彰と進み講評へ。講評の中で土屋宏明選手の10回目のそろばん日本一を讃え、特別表彰を検討しているとの発表がありました。当然のことだと思います。土屋選手以前の最多優勝は6回ですから十分に表彰に値すると思います。一部には過去の読上暗算で17回、12回と優勝している選手がいてその選手には特別表彰はしていないとの意見もあるようですが、当時の関係者の配慮が足りなかっただけだと思います

ので、それを理由に見送ることはないと思います。是非来年の全日本珠算選手権大会で表彰されることを願っています。これにて令和元年度全日本珠算選手権大会は全て終了となり、各選手・引率者・保護者等それぞれ何かを胸に刻み何らかの思いを胸に来年に向けて会場をあとにしました。道央支部選手団は諸般の事情から半分くらいが大会終了後直ぐに北海道への帰路につき、残った選手・関係者で例年通り慰労会が行われました。大会前2日間の練習・大会本番・慰労会と一緒に練習し大会に臨んだ仲間として皆が仲良くなり始めて参加した小学生も「来年も参加したい」と言ってくれていましたので引率した身としましては大変嬉しい思いです。今後も選手同士皆が仲良く切磋琢磨し成績も向上し息の長い選手が増えてくれることを心より願っております。加えてまだ参加したことのない先生や生徒も是非目標にしている日か参加してみたいと心より願ってやみません。

今年から同じ会場とは言え部屋がより大きなホールに変わりました。そのおかげで全選手が一斉に競技できるようになったことは全ての選手にとって良かったと思います。しかし、そんな中

★選手席と観覧者席が同じ高さ（平面）のため見辛かったのも、何か台でも置いてその上に席を設けるような工夫をして欲しい。

★観覧席の椅子が少なく立っただけで見ている観覧者を多く見ました。椅子だけなのだからもっと多く用意して欲しかった。

★ここ数年満点が沢山出ている。一昨年9名、昨年6名、そして今年は8名。今年参加した選手だけでも満点経験者は10名を超え、可能性で言うと20から30名満点が出てもおかしくはない状況です。これは全珠連創立時の精神とは相容れないことのはずです。問題を改定するか、制限時間を短縮することが急務だと思われます。

★さらに、決勝出場選手が13名以上になった場合2回（25名以上なら3回だと思われます）に分けて決勝を行うということになっていますが、選手側からするとあり得ない話です。あとで競技する選手の方が圧倒的に有利だからです。これも運営者側の理屈なのでしょうけれど、もっと選手のことを考えて欲しいものです。

以上、最後は私的な感情を記すことになってしまいましたがこれを持ちまして乱文ながら令和元年度全日本珠算選手権大会の観戦記とさせていただきます。最後まで読んでいただいた先生ご精読ありがとうございました。



# 第54回道央珠算選手権大会



## 道央珠算選手権者

# 久保 新

選手(札幌)

令和元年7月7日 会場 岩見沢市自治体ネットワークセンター

### 個人総合競技

高校生以上の部	中学生の部	小学5, 6年の部	小学4年生以下の部
久保 新 1,480点	山田 稔揮 1,250点	永井 悠聖 750点	新倉 咲音 750点

### 読上暗算競技

#### 選手権者

久保 新

一條珠算塾

5桁～16桁 52.46秒

高校生以上の部	中学生の部	小学5, 6年の部	小学4年生以下の部
久保 新 札幌	兼松 優衣 札幌	永井 悠聖 札幌	井伊 俊介 札幌

### 読上算競技

#### 選手権者

本田 瑠々花

北海道教育大学付属札幌中学校

7桁～16桁 27.47秒

高校生以上の部	中学生の部	小学5, 6年の部	小学4年生以下の部
浅野 貴広 札幌	本田 瑠々花 札幌	細川 結愛 札幌	井伊 俊介 札幌

### フラッシュ暗算競技

#### 選手権者

浅野孝弘

一條珠算塾

1.68秒

高校生以上の部	中学生の部	小学5, 6年の部	小学4年生以下の部
浅野 貴広 札幌	保浦 聖 札幌	川島 弘大 札幌	井伊 俊介 札幌

## 総合競技 入賞者一覧表

### ◎ 高校生以上の部

順位	選手名	地区名	得点
優勝	久保 新	札幌	1,480
2位	計 良 彩 水	札幌	1,460
3位	浅野 貴 広	札幌	1,445
4位	若 松 尚 弘	札幌	1,425
5位	酒 井 聡 史	札幌	1,410
6位	若 松 彩	札幌	1,395
7位	真 田 美 歩	札幌	1,330
8位	河 野 太 風	札幌	1,215
9位	高 橋 百年美	札幌	1,200
10位	伊 藤 隆 広	札幌	1,145

### ◎ 中学生の部

順位	選手名	地区名	得点
優勝	山 田 稔 揮	札幌	1,250
2位	保 浦 聖	札幌	1,155
3位	本 田 瑠 々 花	札幌	1,140
4位	兼 松 優 衣	札幌	1,075
5位	田 中 愛 彩	札幌	1,050
6位	阿 部 笑 子	札幌	1,035
6位	田 中 步 斗	札幌	1,035
8位	佐 々 木 優 大	札幌	1,000
9位	田 中 恵 音	札幌	990
10位	上 畠 陽 和 太	札幌	955



◎ 小学校5・6年生の部

順位	選手名	地区名	得点
優勝	永井悠聖	札幌	750
2位	大塚千秋	札幌	735
2位	山下愛加	札幌	735
4位	細川結愛	札幌	730
4位	川島弘大	札幌	730
6位	井上幹太	札幌	725
6位	渋川萌乃	札幌	725
6位	山本果凜	札幌	725
9位	東海林佑哉	札幌	715
10位	濱崎尚人	札幌	705

◎ 小学校4年生以下の部

順位	選手名	地区名	得点
優勝	新倉咲音	札幌	750
2位	山田洸揮	札幌	750
3位	井伊俊介	札幌	740
3位	品川莉里佳	札幌	740
5位	新倉舞音	札幌	730
5位	林優衣	江別	730
7位	久保田留惟	札幌	720
7位	中島海翔	札幌	720
7位	川島那月	札幌	720
10位	寺島英亮	札幌	695

読上暗算 入賞者一覧表

読上暗算選手権者

久保新

5~16桁

一條珠算塾 52'46"



高校生以上

順位	選手名	地区名
優勝	久保新	札幌
2位	浅野貴広	札幌
3位	若松尚弘	札幌
4位	酒井聡史	札幌
5位	計良彩水	札幌
6位	若松彩	札幌
6位	伊藤隆広	札幌
8位	森下琳加	札幌
8位	高橋百年美	札幌
10位	久保まい	江別

中学生

順位	選手名	地区名
優勝	兼松優衣	札幌
2位	本田瑠々花	札幌
3位	山田稔揮	札幌
3位	上畠陽和太	札幌
3位	田中愛彩	札幌
6位	保浦聖	札幌
7位	佐々木優大	札幌
8位	福澤喜江	小樽
9位	田中歩斗	札幌
9位	田中恵音	札幌
9位	石井秀明	小樽
9位	畠山珠貴	小樽

5・6年生

順位	選手名	地区名
優勝	永井悠聖	札幌
2位	細川結愛	札幌
3位	渋川萌乃	札幌
3位	濱崎尚人	札幌
5位	山本果凜	札幌
5位	畠山佳貴	小樽
5位	玉木結愛	江別
8位	大塚千秋	札幌
8位	井上幹太	札幌
10位	東海林佑哉	札幌
10位	成田隆之佑	江別

4年生以下

順位	選手名	地区名
優勝	井伊俊介	札幌
2位	山田洸揮	札幌
3位	新倉咲音	札幌
4位	寺島英亮	札幌
5位	久保田留惟	札幌
5位	品川莉里佳	札幌
5位	鈴木茉侑	札幌
5位	川島那月	札幌
5位	林優衣	江別
10位	中島海翔	札幌
10位	柳田大雅	江別
10位	三宅心菜	江別



# 読上算 入賞者一覧表

## 読上算選手権者

本田 瑠々花

北海道教育大学附属札幌中学校

7~16歳  
27'47"



### 高校生以上

順位	選手名	地区名
優勝	浅野 貴広	札幌
2位	真田 美歩	札幌
2位	計 良彩	札幌
4位	酒井 聡史	札幌
5位	久保 新	札幌
5位	高橋 百年美	札幌
5位	森下 琳加	札幌
5位	若松 尚弘	札幌
5位	若松 彩	札幌
10位	久保 まい	江別

### 中学生

順位	選手名	地区名
優勝	本 田 瑠々花	札幌
2位	山 田 稔揮	札幌
2位	保 浦 聖	札幌
2位	兼 松 優衣	札幌
2位	田 中 歩斗	札幌
2位	上 畠 陽和太	札幌
2位	田 中 恵音	札幌
2位	畠 山 珠貴	小樽
2位	佐 藤 駿	岩見沢
10位	佐々木 優大	札幌
10位	田 中 愛彩	札幌

### 5・6年生

順位	選手名	地区名
優勝	細 川 結愛	札幌
2位	永 井 悠聖	札幌
3位	伊 藤 權	岩見沢
4位	大 塚 千秋	札幌
4位	山 下 愛加	札幌
4位	渋 川 萌乃	札幌
4位	山 本 果凛	札幌
4位	畠 山 佳貴	小樽
4位	玉 木 結愛	江別
10位	先 崎 徳真	岩見沢
10位	松 浦 健太	岩見沢
10位	西 尾 優那	江別
10位	阿 部 彩羽	江別
10位	成 田 隆之佑	江別

### 4年生以下

順位	選手名	地区名
優勝	井 伊 俊介	札幌
2位	新 倉 咲音	札幌
3位	山 田 洸揮	札幌
3位	久保田 留惟	札幌
5位	品 川 莉里佳	札幌
5位	中 島 海翔	札幌
7位	三 宅 心菜	江別
8位	寺 島 英亮	札幌
9位	川 島 那月	札幌
9位	森 田 一華	小樽
9位	林 優衣	江別
9位	久 保 きい	江別
9位	福 田 夏芽	江別
9位	村 山 愛翔	江別

# フラッシュ暗算 入賞者一覧表

## フラッシュ暗算選手権者

浅野 貴広

一條珠算塾 7.68秒



### 高校生以上

順位	選手名	地区名
優勝	浅野 貴広	札幌
2位	真田 美歩	札幌
3位	若松 尚弘	札幌
4位	久保 新	札幌
4位	若松 彩	札幌
6位	高橋 百年美	札幌
6位	酒井 聡史	札幌
6位	計 良彩	札幌
9位	河野 太風	札幌
10位	森下 琳加	札幌

### 中学生

順位	選手名	地区名
優勝	保 浦 聖	札幌
2位	山 田 稔揮	札幌
3位	上 畠 陽和太	札幌
4位	兼 松 優衣	札幌
4位	本 田 瑠々花	札幌
4位	佐々木 優大	札幌
4位	阿 部 笑子	札幌
4位	田 中 歩斗	札幌
4位	田 中 恵音	札幌
4位	田 中 愛彩	札幌

### 5・6年生

順位	選手名	地区名
優勝	川 島 弘大	札幌
2位	細 川 結愛	札幌
3位	山 本 果凛	札幌
4位	山 下 愛加	札幌
4位	渋 川 萌乃	札幌
6位	濱 崎 尚人	札幌
7位	東 海 林 佑哉	札幌
7位	大 塚 千秋	札幌
7位	井 上 幹太	札幌
7位	畠 山 佳貴	小樽

### 4年生以下

順位	選手名	地区名
優勝	井 伊 俊介	札幌
2位	新 倉 咲音	札幌
3位	山 田 洸揮	札幌
4位	川 島 那月	札幌
5位	久保田 留惟	札幌
6位	新 倉 舞音	札幌
6位	中 島 海翔	札幌
8位	林 優衣	江別
9位	品 川 莉里佳	札幌
9位	柳 田 大雅	江別



# 平成30年度珠算十段合格者



			
合格時の回数・月	第389回 (平成31年1月)	第388回 (平成30年11月)	第390回 (平成31年3月)
地区	札幌地区	札幌地区	札幌地区
氏名	山田稔揮	上島陽和太	佐藤快俐
取得時の学校名・学年	札幌市立東札幌小学校6年	札幌市立緑ヶ丘小学校6年	北海道教育大学附属札幌小学校6年
現在の学校名・学年	札幌市立日章中学校1年	札幌市立啓明中学校1年	北嶺中学校1年
合格についての感想	長年の目標だった珠算十段に合格できてとてもうれしかったです。伝えてくれた先生、教室の仲間、家族への感謝の気持ちを忘れずに今後も出来る限りそろばんを続けていきたいです。	暗算十段に合格後約二年経っての十段合格だったので本当にうれしく、そしてほっとしました。十段合格の難しさをかみしめた二年間でした。珠算を基礎から教えていただいた伏見珠算教室の今先生や網走珠算塾の会先生、オホーツク支部の諸先生方に、本当に感謝しています。	小さい頃からの夢であった珠算・暗算十段という念願の目標を達成できてとてもうれしいです。これからも日商検定や全国大会など様々なものに挑戦し自分の腕を磨きたいです。
一番苦労したとき及びその解決方法	練習では合格点が取れているのに、本番では何度も不合格だった時期が一番苦しかったです。そのため、家での練習時間を増やしたり、ペース配分の改善などをしました。	見取算の点数が安定せず、練習しても思うように点数が上がらなかったことが一番苦労したところです。それでもとにかく練習を何度もして、点数が安定するように努力しました。	何度受験しても、あと1問、2問で合格を逃してしまうことがとても悔しかったです。そんな時、常に前を見続け、志を高くし、努力し続けました。特に、390回試験の1~2ヶ月前は、字を丁寧に、だけど、スピードを意識し、練習で常に満点を取れるところまで仕上げるように心がけました。
そろばんをやっていてよかったと思うこと	計算が速くなったのはもちろん、集中力もつきました。そして、軽い挫折を何度か経験したことによって、諦めずに最後までやり遂げる力も身に付きました。	学校の授業などで計算が早くできたので、問題を解くことが早くできたことです。	日々の勉強の計算などそろばんの能力により、計算の時短ができ、皆より大きなアドバンテージを作ることができるんです。また不合格でもあきらめず、取り組むことで、精神力や忍耐力が身に付くため、日々の学校の試験や模試に生かすことができることです。
そろばんの魅力とは	自分の上達度が点数となって目に見えるので自分が上達しているということがはっきりと感じることができ自分がとても上達するときの達成感には言葉にできない何かがあると思います。	検定や大会で一問に泣き、一問に笑うという結果が全てというシビアなところが緊張もしますが、魅力あるところだと思います。	大会等で出会ったライバルと、優勝を勝ち取るために、切磋琢磨し合うことで向上心を養うことができます。また、1つの科目に全力をかけて挑むので、集中力も同時に磨くことができます。

**実力の差は努力の差 実績の差は責任感の差**  
**人格の差は苦勞の差 判断力の差は情報の差**  
**真剣だと知恵が出る 中途半端だと愚痴が出る**  
**いい加減だと言いつけばかり**  
**本気でするから大抵のことはできる**  
**本気でするから何でも面白い**  
**本気でしているから誰かが助けてくれる**



正範語録

# 平成30年度暗算十段合格者



				
合格時の回数・月	第386回（平成30年7月）	第386回（平成30年7月）	第386回（平成30年7月）	第387回（平成30年9月）
地区	札幌地区	札幌地区	札幌地区	札幌地区
氏名	田中愛彩	田中歩斗	井伊俊介	新倉咲音
取得時の学校名・学年	札幌市立北都中学校2年	札幌市立手稲東小学校6年	江別市立大麻小学校2年	札幌市立福移小学校2年
現在の学校名・学年	札幌市立北都中学校3年	札幌市立手稲東中学校1年	江別市立大麻小学校3年	札幌市立福移小学校3年
合格についての感想	なかなか取れなかった十段だったので、ただただ嬉しかったです。いつも珠算と暗算のダブル受験でしたが、今回だけは暗算検定だけを受験したので、練習に専念できました。珠算も十段合格できるようにしたいです。	合格できてうれしいです。そろばんを始めてから夢見ている十段だったので本当にうれしいです。でも、珠算の十段はまだ取れていないので次は珠算も十段を取れるようにたくさん練習していきます。	自分が苦手な種目を何回も練習して、検定では、落ち着いて、試験を受けられ良かったと思います。	2年生のうちに十段を取れてよかったです。
一番苦労したとき及びその解決方法	私は見取算が苦手です。0点をとったこともありましたが、たくさん間違えても「今日はこれだけ正解できた！明日はもっと正解しよう!!」と考え、常にモチベーションを高く持っていました。そして毎日練習をして改善しています。	点数が取れなくなる時がありました。練習不足というわけでもなかったのですが、その時は、ただガムシャラに練習するだけでなく、一回一回点数を見直して振り返りをして、毎日自分と見つめあい、乗り越えました。	苦労した時は暗算10段を取ろうとしていた時です。苦手な種目をたくさん練習しました。そしたら十段を取ることができました。	八段～十段に上がるまで。朝から練習したこと。
そろばんをやっているとよかったと思うこと	学校の数学で他の人が長い時間をかけて解いている大変な計算もすぐに解き終わることです。他にも買い物時などにお金の計算ができるので効率の良い買い物ができていることです。	学校での勉強テストなどにおいて、計算が早くできるから考える時間が増え、落ち着いて問題が解けるといいうことです。	学校の算数の授業で、大変な計算を早く解くことができる場所です。	一番は友達がいっぱいできたこと。
そろばんの魅力とは	そろばんは個人でやる人が多いですが、みんなが同じところを目指して頑張っているのが、たくさんの仲間ができることです。その仲間と切磋琢磨しながらそろばんも上達できるところが良いと思います。	いろんな大会に於いて、スポーツのように声を出して戦うという事は無いのですが、心をけずりあって競技するというのがそろばんの魅力だと思います。まさに机上の格闘技だと思います。	記憶力や集中力などいろいろな能力がパワーアップする場所です。	習うと計算が速くなりいろいろな問題がとけるようになること。



# 平成30年度暗算十段合格者



第388回（平成30年11月）	第388回（平成30年11月）	第388回（平成30年11月）	第390回（平成31年3月）	第390回（平成31年3月）
札幌地区	札幌地区	札幌地区	札幌地区	札幌地区
森下麻加	柏 和篤	永井悠聖	田中恵音	阿部笑子
北海道大学2年	立命館慶洋高等学校2年	札幌市立東園小学校4年	札幌市立手稲東中学校2年	札幌市立手稲東中学校1年
北海道大学3年	立命館慶洋高等学校3年	札幌市立東園小学校5年	札幌市立手稲東中学校3年	札幌市立手稲東中学校2年
小さい頃からの目標であった十段段に合格できてとてもうれしいです。もっと練習して珠算十段も目指したいと思います。	暗算七段までは順調に取得できていましたが、中学校入学と同時に練習時間が少なくなり、十段合格まで時間はかかりかかりでしたが、無事に目標の暗算十段を合格できてよかったです。	良い点数で受かれてよかったです。合格までに字の注意等でなかなか受かれずにいましたが、今回は字もゆっくりかけるようなよゆうがあり受合格できてよかったです。	そろばんを習い始めた時は十段を取るなんて夢にも思っていなかったので、ただ「嬉しい」の一言です。	十段に合格したと知った時は本当に嬉しかったし、とても驚きました。ずっとそばで支えてくれた家族や、7年以上、指導してくださっている先生にはとても感謝しています。次は珠算十段合格を目指して、日々練習を積み重ねていきたいと思っています。
練習では点数が取れるのに本番当日は点数が取れないということが長い間続いてとても苦しかったです。周りの方が応援してくださったので練習を積み重ねることができ合格につながったのではないかと思います。	数字が見えづらい(8など)と指摘されており、本番で見やすい字を書けるように早く書き、かつ丁寧に心をかけて練習を繰り返しました。	検定が字の注意でだめだった時。練習で字をきれいに書けるように工夫して練習すること。	一番苦労したのは、全問で答えるのに答えが合わないことです。でもそんな時でも、何回も問題を解き、計算し、書くことで解決できたのかなと思っています。	そろばんの練習を後まわしにして、いつの間にか夜になり、夜にそろばんの練習をやってしまうことです。夜に練習すると寝る時間が遅くなり、朝になかなか起きられなくなってしまうので、午前中から夕方までにやる!ということをしかりと心に決めて練習をしています。
計算で困らないというのはもちろんなんですが、周りの方が応援してくださっていることに気づけたことが一番良かったと思います。	常にそろばんの恩恵を受けていると感じています。授業の計算問題はもちろん、普段生活している中でいつでも使用できる点が良かったと感じます。	計算が速くなったり、生活でも暗算を活用しているいろいろなことができること。	計算が速くなり、学校の勉強が楽しくなる。という事はもちろんですが、私は、テスト前の勉強に役立ったのかなと思います。勉強を長時間やりたくない時でも、そろばんをやっていることで「短時間で集中」することができるということです。	そろばんをやっている良かったと思う事はあきらめないことの大切さを知れたことです。検定試験や競技会なので悔しい思いをたくさんしてきましたが、次は良い結果になれるように練習を積み重ねてきました。諦めずにずっと続けてきたことによって嬉しさや楽しさがより強く感じられて、あきらめないで努力することは大事だと学びました。
電卓がなくても計算ができること、そして検定や大会を通し成功体験を得たこと。緊張をコントロールできるようになったことが魅力だなと思います。	日常でも使える計算能力を向上できること、海外で日本文化として紹介できる点が魅力だと考えます。	たくさんの大会や検定などがあり、いろんな人とたかえること。	自分の成長を知れること。自分が伸びていないと思っても毎日やることで必ず実力がついてくるから同じ問題をやるたびに、結果が変わるのも知ることができる面白さがあると思う。でも一番の魅力は、そろばんをやっている無駄なことが一つもないことです。	そろばんの魅力は、努力をしている人にしかわからない、楽しさが必ずあることです。「〇点以上は取る」や「あの人に勝ちたい」などの目標を最初は達成することが難しいけれども達成するために練習をして、達成することができたときは嬉しい、楽しさを感じられます。本当にそろばんは無限の可能性を見出します。



# 第7回人材育成講習会を受講して

札幌地区 松永直子

平成最後のクリスマスを迎える30年12月22日からの2泊3日、人材育成講習会に参加させて頂きました。独身時代に地元の地区会員だった時、師匠と弟子達で積み立てをして毎年2名全国研究集會に送り出していました。観光を含めた報告を聞いて自分の番が来るのをずっと楽しみにしていました。

しかし、自分の番が来たときには、結婚により地元を離れ地区会員をやめていたので、行けずじまいでした。今回お話を頂いたときは、てっきり研究集會に送り出す話だと思って二つ返事でお受けしました。

よくよく諸先輩から話を聞くうちに、「何か違う?」と思いましたが、後の祭りでした。しかも23日は札幌市民珠算競技大会兼全国そろばんコンクールという競技部としてのメインイベントを控えているにも関わらず、札幌地区の先生方の温かいお心で同じ競技部の湯谷先生と2人を送り出して頂いたことに感謝しています。

オリエンテーションでは、5分前集合、遅れたら講義を受けられない、メモを取るより心で聞こうと話され、メモ魔の私は「最前列でメモが取れない!」、「10分休憩の時間の使い方を失敗できない!」の2点が不安で戸惑い、隣の方との会話もできず緊張でカチカチになっていました。そのような緊張感の中、澤田研修学教委員長の挨拶で「心の若い<sup>あ</sup>かるく<sup>た</sup>のしく<sup>ま</sup>えむきに」という「あ・た・ま」の志を持って帰ろうと講習を受ける心構えができました。

## 第1講座 全珠連史 平上一孝理事長

最初に昭和28年3月荒木勲先生のもと、商工会議所に依存するばかりではなく珠算教育者が「自主独立」すべきと協力を願う声を上げられ、9月に全珠連が誕生しました。

熱く語られた平上理事長の言葉に、昨年道央支部も60周年を迎え全珠連創立から道央支部60年の歩みが繋がった喜びと、先人達が将来の珠算界を良くしようと開拓してくれた事に感謝しました。

全珠連創立65年の間に、時代に合わせた検定試験制度の変遷、(段位・暗算・フラッシュ暗算・算数チャレンジ等)何も手をこまねいていたわけではない、手を打ってきた事。PR事業(そろばんの日・マスコット命名・キャッチフレーズ・小学校教育支援・そろばん資料館・訪米使節団派遣等)珠算教育が衰退しないように活動してきていることを改めて尊敬いたしました。

平上理事長が話された①人が減ると活力がなくなる。②与えられた中で何ができるか③AIが出てきても、珠算は絶対生き抜いていく!④自身で考え、つかむ「心・体・技・知」は人にとられない。⑤「8月8日はそろばんの日」と印象を付けてもらいたい。これら時代を担っていくことを絶えず考えて活動してほしいと話された事が記憶に残りました。

## ◆組織の現状と運営及び展望

現在の珠算界は①全国珠算教育連盟(公益社団法人)②全国珠算学校連盟(学校並びに個人)③日本珠算連盟(一般社団法人)の3団体あり①公益社団法人とは公益法人認定法に掲げる事業でなければダメとして国の認定を受け、3名以上多数に利益増進が図られているか、支部事業予算・決算は常任委員会決議、総会は正会員。本部事業予算決算は理事会決議必要、総会は代議員(社員総会)。③一般社団法人は2名以上で目的を問われない、地域珠算団体(商工会議所所在地と個人)法務局の登記で可能、目的は変わっても可なので社会的信用はどうかという違い。今まで常任委員や理事という言葉は耳にしていたましたが、どちらが上なのか下なのかもわからず、そのワードが出てきたら耳がシャットアウトしていました。今回の話で理解する事ができました。全珠連の基本姿勢にあるように、伝統文化の継承と向上に努め、人権を尊重した学習環境の配慮をし、有益な社会人となるように努力しなければならないと思いました。

## 第2講座 検定運営 工藤壽和副理事長

検定を行うには、珠算教育士・検定試験委員委嘱・安全会に加入している正会員指導教場の3点セットが必要であること。本部に保護者からの苦情が直接来る事などから4年毎に講習を受け信頼性・公平性・厳格性を徹底する更新制度を設けています。

昭和54年の受験者数ピークを迎えた後は、4級以下の検定や暗算検定を増やす等、色々検討されても山を下りるが如く急降下で、平成13年検定制度を実務珠算から教育珠算に大幅に改正したことにより歯止めがかかったこと。次の世代まで続くように、100年先を考えてどんどん改良して頂いていたとの有難みを感じました。ここにも「自主独立」の熱い思いが見えました。検定受験者数では道央は52支部中15位。まだまだ初級を受けさせるなど隠れ受験者をなくす等検討すべき点がある。個々に「自分に



何ができるか」で協力すべきだと思いました。

### 第3講座 学校における特別教育の実際

大場一輝三鷹市立中原小学校長

この3日間の講習会は、全珠連の基本姿勢とは何かという意図で、すべてこの第3講座が基本になっているように感じました。これからの時代、私達はこの精神を第一重点にして指導していくか否かがポイントになっているのだと思うくらい、ほとんどの講習中や、班の話し合いの中にこの講習の「見える化」「合理的な配慮」「見通しをもたせる」ワードが出てきました。

身体や発達障害で困っている児童に特別支援教育を実施すること。視覚で理解できるよう「見える化」、学校ではその子に応じた「合理的な配慮」が義務化されている。事業者は努力義務であるが誰かにやさしいことは他の人にもありがたい事である。先がわからないと不安なので「見通しとやり方を伝える」事で自尊感情を高めることができる。「自分はどうせ・・・」と自己肯定感が低い人が増えている世の中にも対応出来、固定観念で上から押し付けるのではなく「相手(子供)の目線まで下げ理解する努力」が、これからの教育に必要なってくる。

私たち事業者も一方的な指示だけではなく意識を変えていかなければならないと思いました。また、この講義中のジャンケンゲームで、初めて隣の方の顔を見ることができ、話す事ができました。それほど力チカチでした。

### 第4講座 珠算史・算法

大垣憲造珠算史研究学会副会長

そろばんが日本に伝わったのは室町末期(16世紀末)。そろばん本体は、1591年とかかれた黒田官兵衛の家来だった久野四兵衛重勝が豊臣秀吉より拝領された拝領そろばん(日野和輝氏所蔵)が一番古いと5年前にわかり、テレビのお宝鑑定番組で高額鑑定が出たようです。そろばん生産は1612年大津追分の片岡庄兵衛(天二地五)が中国人から製造法を習って生産した。そろばん伝来の地は長崎や堺と考えられるので、大津との3市が古い生産地と思われる。江戸時代から江戸や大阪でそろばん発展の時代に入り経済と教育を担っていった。当時、乳井貢氏が4つ玉採用したが普及には至らなかったこと。

長い間天二地五のそろばん使用から明治12年わり声を使う帰除法から商除法(亀井算)に変わったため天一地五が主流になり昭和12年塩野直道氏が4つ玉を使用し昭和13年10月貯金局で4つ玉採用。塩野氏の尽力により文部省通達で現在の4つ玉そろばんが一気に広がりました。先人たちのご努力、映像で見たくなりました。

算法はかけ算は頑張っについて行けましたが、省一乗法・省一除法は間に0の入る消費税の計算に便

利な算法である事など種類を知ると、問題によって使い分ける事ができるのだと知りました。割り算は理解がついて行けず、とりあえず盤面を書き写して自宅に持ち帰ろうと書くのに必死でしたが八算わり声(九九)が入ると何を話しているの?どこを見るの?でお手上げしてしまいました。時代劇で見るそろばんの計算はこれだったのかと初めてわかりました。

優しい問題は手伝ってもらって割ることができました。

### 第5講座 算数科「筆算」

栗田幸雄研修学教委員

保護者はそろばんを習うことに何を求めているか。退塾の目安として「学校成績に反映されているか。計算が早くなり子供が元気ならやめさせない。成績も変わらず、つまらなさそうならやめさせる。」という現状に、筆算計算の順序と指導の仕方を学びました。

未就学児は5が特異数の子供が多く、第3講座の大場先生も話されていましたが、学校に上がると10の合成分解をするので10が特異数に変わる子供が多い。しかし5の特異数からなかなか変われない子供もいること。

サクランボ計算「 $8+3$ 」の場合、学校では「大きい8」を、あといくつで10にするかで3を分解する。でも10の補数から教えているそろばん塾の場合は「たせない3は(大きい8から)7を取って10を足す」と8を分解する。5が特異数の子は混乱しているかもしれない。運指の順序が違うよと怒鳴ってしまうと子供は元気がなくなってしまうかもしれない。割り算も教科書の順序で教えないと生徒は混乱する。

しかし教科書には言い回しが難しく9立商など現場一任になっている問題もあり、大人の声掛けが必要である事。理解しやすい計算はそろばんにはたくさんある事、それを保護者にも伝え他のやり方を否定しない事。その他には、私達がテストを受けて「テストするよ」と言われた子供たちの、不安な気持ちを汲んでほしいと言われました。

「合理的な配慮」と生徒と保護者との「信頼関係」を築くことが明るい教室になり、子供たちが元気に「さよならー」といえる居場所にするように、努力しなければと思いました。明日から、すぐ実践できる一歩を見つけました。

### 第6講座 PC活用法 高梨和司委員

世の中は超スマート社会に入り、これからAI(人工知能)が人間の頭脳を代替えていく中、より人間らしい仕事が求められる時代の到来です。将来なくなる仕事や生き残る仕事。過去に、そろばんも電卓にその場を奪われましたが計算だけというツールから



能力を鍛えるツールに形を変えて復活しました。今は年齢に関係なく年配者も小さな子供もスマホで検索できる時代になったので、うまく利用して自分で考え工夫し、これからの子供たちにも「自主独立」精神が持てるようになってほしいと思います。実践編ではマウスを使わなくて済むような基本操作を教わりました。もっと時間があつたら関数など習いたかったです。

#### 各班発表「THEうら技」 4班

##### どのような生徒でも理解できる初歩指導

##### (5の補数から・10の補数から指導)

わたし達4班は皆10の補数から指導しており、1～9までの数字を全部使うことができ、2桁の数字がそろばんで簡単に計算できた！と親も本人も喜びの、5の補数から指導する事を考えなかったのがほとんどです。覚えにくい「5+7」等はワン・ツー・スリーと言葉を使う先生、私のようにリズムをつけて歌いながら教える者、両手で5と2を下げる動作をつける先生・一日2問でも覚えられたら良いという覚悟でおはじきやブロックなど道具を使ってじっくり指導する先生もいました。

班の結論は、そろばん計算は瞬発力が必要なので、反復計算で身につけてもらうとの話になりました。皆さんの発表を聞いて、これからは5の補数に切り替えの対応ができる「合理的な配慮」、わかりやすく道具(手・指・物)を使う「見える化」、見本を見せながらゆっくり相手の表情を見ながら「お見本をみせる」ように柔軟に対応するゆとりを持つことが大切なのだと勉強になりました。

他の班では、生徒年齢や進度に合わせて教材を何冊も使い分け両方対応できるようにしているところもありました。ぜったいこの指導でという固定観念を取り払うことが大事だと思いました。

#### 第7講座 自らの資質向上を目指して

##### 澤田悦子研修学教委員長

真の「人財」を目指す事。あなたの代わりはいない。本当にあなたで良かったと言われるように。「仕事」は知識や技術とするものではなく「人間性が大切」である事。

3つの「約束」として、あいさつ・掃除・素直にできること。

そして夢を現実にする大切なことは目的を持ち、周りの人を幸せにできる事。相談しても前向きな答えが返ってくる人、教室に行ったら楽しいなあと思ってくれる場所。そんな明るいところに人は集まり幸せな空間が生まれるということ。

「ごみを落とすのは自分の人間性も落としてい

る。」「汚い言葉は人間性をつぶしてしまう」と聞き、学校の先生が保護者に話していた、「服の乱れも心の乱れであるからサインを見逃さずにいる事」を思い出しました。

「ありがとう・感謝します」の魔法の言葉を。明るく褒め・願いを10回言うと叶いやすくなるように、ここに来たら幸せな子が増えると願う温かい心。

自分らしく、そして立場が人を作る。周りに支えられて出来るという謙虚さがないと周りは支えてくれない。ゆとりはエネルギー源。10分前行動を心がける。わすれもの・つまずき・ケガも無い。できる範囲でできないところは助けを借り、ほどほどに生きよう。自分のために尽くすのはつまらないが、人のために尽くすのは心までは疲れない、ということ。

「待つ・聞く」我慢できないのは大人ですか？子供ですか？ドキッとしました。ゆとりを持たないと、と思いました。謙虚な気持ちでいる事。その日の環境で子供はいろんな顔を持つので表情を見ながら、うわべだけで話をせず強くは言わない。[あ]かるく[た]のしく[ま]えむきな場所に人は集まると、心にいつも持っていようと思いました。

#### 第8講座 生徒指導におけるコミュニケーション

##### 大木桃代先生(学術顧問)

最初に大木先生から、先生方は普通のコミュニケーション力だけでは足りない。この先生だったら頑張ろうと思う気持ちをすべての生徒に思わせる力。子供といえども人権まで否定してはならない。相手の話を、心を込めて聞く。やわらかい口調で、そして、ゆっくりとした動作でうなずく。忙しさにかまけて、生徒を寂しがらせていたと反省しました。思いを感じ取り寄り添い、もっと相手に思いを伝えていかなければと思います。「ゆとりの対応は生徒にとっても、保護者にとっても良好なコミュニケーションをとれる」ことを目標にしていきたいです。

最後に、このような機会を準備して頂いた本部役員の皆様、研修学教委員の皆様、事務局の皆様、また支部自慢の作成に相談・協力して頂き、行事があるにも関わらず、快く送り出して頂いた地元の皆様、本当にありがとうございました。支部自慢では、発表の練習不足で、極度の緊張により頭の毛が全部抜けるのではないかというような感覚を、初めて味わいました。

さらに4班の諸先生はじめ同期の先生方、ありがとうございました。一つの共通の問題に皆で遅くまで話し合った事は、全国各地でそれぞれ同じ悩みを持ち、同じように仕事をしているという実感がこみ上げました。

これからも皆様よろしくお願ひ致します。



# 平成30年度道央支部珠算指導者講習会の感想

## 『道徳教育』 根岸良久先生のお話を聞いて

札幌地区 加藤大悟

道徳授業が始まって60年と根岸先生からお話が  
あり、私は小学校時代約30年前の事を思い出しま  
した。その当時道徳の授業ではテレビで「さわやか三  
組」を見て道徳の勉強をしていました。見た内容につ  
いてプリントが配られ、自分の感じたことを書くとい  
う授業内容だった様な気がします。正直あまり覚え  
ていませんが、それだけ印象の薄い授業だったの  
ではないでしょうか？

唯一覚えているのは「はだしのゲン」を見た記憶が  
あります。インパクトがあったのでこのお話だけは  
少し覚えています。

今回根岸先生の講習会を聞き、私が授業を受けた  
道徳と比べるとずいぶん内容や、道徳に対する考  
え方、教え方が変わってきているなと感じました。

根岸先生の道徳授業は、生徒達の意見をどんどん  
言わせて、それぞれがどう思うのか、その思いを生徒  
同士でぶつけ合い、生徒達で価値観を話し合う授業  
を進めていくことに驚きました。そうすることで、教  
えられるのではなく、答えを自分で見つけるのが今  
の道徳授業なのだと知りました。

私の小学校時代には無かった授業のすすめかたで、  
私もこのような授業を受けたかったな～と思いまし  
た。

生徒主導の授業の進め方をすることにより生徒全  
員の考えを共有しやすくなり、学級という集団の中  
で思考力・判断力・表現力・知識の理解の質を高めら  
れるのだなと感心しました。

課外授業では、どうしたら犬は怖がらずにコミュ  
ニケーションがとれるのかをわかりやすいように大き  
な手をつくり、頭の上から急に覆いかぶさってき  
たら自分はどう思うのかを体験し、どうして上から  
じゃなく、下から手をやさしく出してあげるのかを  
自分自身で体験することによって動物の気持ちを理  
解することで、普段接している友達がどう思ってい  
るかを考えるきっかけになるような授業の進め方に  
とても感心しました。

これはそろばんの授業でもいえる事ではないでし  
ょうか、指導者は生徒の気持ちを考え、わかりやすい  
言葉、教材、表現を考えていかなければいけないな  
と思いました。何事も教えるには「シンプル」に「わ  
かりやすく」してあげる事が大切だと感じています。

今回講習を聞きたくさんの気づきがありました  
がその中の一つに、「集中してない生徒に集中しなさい  
と言ってもできない。」という話がありましたが、こ  
れは私の教室の雰囲気づくりにも問題があるのです

が、子供なりに集中できない理由があるようで、今は  
すぐには注意せず、少し観察してから注意すること  
をしています。そうすると、うしろの生徒が話しかけて  
邪魔をしていたり、指導された事がまだ理解できて  
いなく「ボーッ」としていたり、単純にサボっている  
など色々と見えてきます。怒りのピークは6秒とい  
うのを聞いた事があるので、観察することで怒りを  
抑える役割もあります。注意するのもそうですが、怒  
りを鎮めるために観察している事が多いですね。

そのほかにも「開始時間には厳しいが、終了時間は  
フリーダム」ですが、私の教室は随時制なので準備が  
終わって授業ができる体制が整ったところで開始時  
間を書かせています。書かせた時間から1時間20  
分授業をしますが、次の予定やお迎えが来ていない  
かぎりテキストは区切りをつけさせてから終了なの  
で、ピッタリの時間に終わる事は少ないです。

やはり時間が1分でも伸びると生徒は嫌がります  
から、今後どうすれば終了時間でピッタリ帰るよう  
にできるかを考えるきっかけになりました。あとは  
まだ帰りたくない、もっと練習したい！と思わせる  
授業をすれば悩まなくてすむんですけどね。

根岸先生の講習で一番頭の中に残った言葉は、「今  
の子どもたちの65%は将来今無い職業につくだろ  
う。」この言葉を聞いた時、そろばんは将来どのよう  
な形で残っているのか？もう消えてしまうのか？消  
えずに生き残っていくためには、今後どのような授  
業・経営をしていかなければいけないのか深く考え  
させられる言葉でした。

2020年から学校の授業が変わり、受験内容も  
変わるようですが、そろばん教室は今後どんな役割  
を担っていかなければいけないのか？基本の珠算指  
導を変えるつもりは今のところありませんが、生徒  
獲得に向けて保護者に対してアピールの方法を変え  
ていかなければ他の学習塾・習い事に取り残されて  
しまうと危機感を持っています。

今の子どもたちがそろばんを習うことで将来どの  
ような大人に成長し、就職するのか、人生にはそろば  
んが必要だったのか？そろばんは効果があったの  
か？今後のそろばん塾を存続させていくためには未  
来を見据えた授業をしていかなければと考えさせら  
れました。根岸良久先生、普段は聞くことができない  
講習をして頂きました。

私の小学校での道徳教育の印象を変え、そろばん  
授業の進め方を見直す機会をもらいました。ありが  
うございました。



# 令和元年新入会員紹介

## 若松尚弘先生

皆さまはじめまして。札幌の若松尚弘です。たぶん、園児の頃から競技大会には出させてもらっているのですが、名前は聞いたことがあるという先生は多いかもしれません。簡単に自己紹介をすると、4歳くらいからそろばんを始め、18歳くらいから一條裕幸先生の元で技術を磨いてきました。

私も妻も、前職は公務員でしたが、「絶対にそろばんの先生で生きていく」という強い覚悟を持って退職し、2人で平成25年4月から札幌そろばんファクトリーを開塾し、現在は7年目になります。

私自身、多くの先生方と競技大会に育ててもらって今があると思っていますので、連盟には時期が来たら入り、多くの子ども達を成長させる恩返しをしたいと常々思っていました。まずはもう少し自分の教室が落ち着いてからと思っていたら、あっという間に6年が経っていました（笑）。競技歴だけは40年と異常に長いのですが、組織の中での仕事は1年目ですので、まずは配属させてもらった検定部の仕事を一つ一つ覚えて、少しずつ力になっていけたらと思います。

また、私は指導者であるとともに、現在も現役で選手を続けています。練習が生き甲斐（いつからこんな真面目になったんだろう）で、毎日欠かさず1時間ほど練習し、生徒の採点も筋トレだと思って全力で取り組んでいます。ちなみに、毎年8月8日に行われる「全日本珠算選手権大会」にも中1から連続出場を続けています。その関係で、道内の競技大会でも委員をできなかつたり、検定の日に全国大会に出場することがあったりとご迷惑をおかけすることがあるかもしれません。ただ、私が現役の選手であることによって、「あんな年でもそろばんをやって良いんだ」と、長く続ける子が出てくるかもしれないし、札幌及び北海道の選手たちに説得力を持って技術を伝えていけるという良い面もあると思いますので、どうかおじさんのわがままをお許しください（笑）。

最後になりますが、連盟に所属し、より良い珠算界を築いていく一員になれたことをとても嬉しく思っています。皆で協力し、アイデアを出し合い、道央支部から熱い風を全国に送りましょう。



## 滝田智子先生

令和元年7月に札幌地区に入会させていただきました滝田そろばん教室の滝田智子と申します。北区屯田で開塾しまして6年目になります。

珠算教室を始めるきっかけは、自分の子供達が大きくなり私が教えられるものは何かないかと考えていた時に真っ先に浮かんだのがそろばんでした。

15年前に学んだそろばんですが、社会に出ても主婦になってもそろばんので培った計算力は様々な場面で発揮する事ができました。

そして、何より引っ込み思案で小心者の私が何事にもチャレンジできるようになったのは、親身になって珠算以外の事もたくさん指導して下さった先生のお陰でした。その事を思い出しながら子供達にそろばんを教えていた時に習っていた先生から「そろばん教室をやってみないかい」と勧めてもらい教室を開くことを決めました。

指導者としてはまだまだ未熟で壁にぶつかってばかりおりますが、習っていた先生のように1人1人生徒と向き合って指導していきたいと思っております。

これまで、諸先輩方より温かく声をかけていただいたり、指導方法を学ぶ機会をいただきまして本当に感謝しております。まだまだわからないことも多く、ご迷惑をおかけするとは思いますがどうぞ宜しくお願い致します。





# 令和元年6支部合同珠算指導者講習会

日時 令和元年11月10日(日) 午前10時～午後3時  
場所 ホテル ライフォート札幌  
演題 「珠算教育は、過去の価値の伝達ではなく、未来の新しい価値の創造にある」  
～自由で公平な心を持って行動をすること～  
講師 長尾 計昌(ながお・かずまさ) 三重県支部会員

## プロフィール

生年月日 昭和32年7月13日生 62歳  
最終学歴 昭和55年3月 愛知学院大学 商学部商学課卒業  
検定履歴 公益社団法人 全国珠算教育連盟珠算検定試験 八段位合格

## 職歴

昭和55年から 三重県立公立高校・私立高校並びに専門学校に非常勤講師として勤務  
昭和56年 三重県知事認可校 長尾珠算学園勤務  
平成12年から23年まで  
FMよっかいち放送パーソナリティ(企画・制作・MC担当)  
平成18年 長尾珠算学園園長に就任  
平成18年 株式会社ロハスネット設立 代表取締役就任  
平成21年から23年まで  
エフエムよっかいち株式会社 取締役就任

## 会員としての活動履歴

昭和62年08月10日 社団法人 全国珠算教育連盟入会  
平成02年05月13日 三重県支部 指導者講習会講師  
平成03年08月17日 第33期本部幹部養成講座受講(岩手県)  
平成04年12月26日 全国研究集会で発表(岐阜県)  
平成05年12月25日 全国研究集会で研究発表奨励賞受賞(高知県)  
平成25年07月01日 公益社団法人全国珠算教育連盟三重県支部  
検定競技部長ならびに代議員  
平成29年07月01日 公益社団法人 全国珠算教育連盟三重県支部  
支部長ならびに代議員  
令和01年07月01日より 三重県支部富田地区において会計部長



## 公益社団法人 全国珠算教育連盟 珠算教育士申請手続きについて

申込期間：毎年 10月1日から10月31日まで

申請料：20,000円

締切日：10月9日(水)

※該当者は、研修部長まで期日厳守でお願いします。

# 行 事 予 定

## 令和元年（2019年）

- 8月25日（日）令和元年度第2回常任委員・地区長会（ホテルライフオート札幌）  
令和元年度全珠連道央支部定時総会（ホテルライフオート札幌）
- 9月 8日（日）全珠連本部定時総会（京都市）
- 9月29日（日）第393回全珠連珠算検定試験（各地区）
- 10月20日（日）令和元年度全日本通信珠算競技大会（各地区）
- 11月 9日（土）第111回全珠連北海道地方連合会会議（ホテルライフオート札幌）
- 11月10日（日）令和元年度北海道6支部合同珠算指導者講習会（ホテルライフオート札幌）
- 11月17日（日）令和元年度第2回執行部長会（珠算会館）  
令和元年度第3回常任委員・地区長会（珠算会館）
- 11月24日（日）第394回全珠連珠算検定試験（各地区）

## 令和2年（2020年）

- 1月12日（日）第42回北海道珠算選手権大会 道央支部担当（札幌市）
- 1月26日（日）第395回全珠連珠算検定試験（各地区）
- 2月23日（日）令和元年度第3回執行部長会（珠算会館）  
令和元年度第4回常任委員・地区長会（珠算会館）
- 3月 1日（日）道央支部珠算指導者講習会（ちえりあ研修室）
- 3月22日（日）第396回全珠連珠算検定試験（各地区）
- 3月29日（日）第66回全国珠算研究集会（兵庫県）
- 4月12日（日）令和元年度第4回執行部長会（珠算会館）
- 4月12日（日）令和元年度第5回常任委員・地区長会（珠算会館）
- 5月24日（日）第397回全珠連珠算検定試験（各地区）一週間繰上実施

## 編集後記

本年度の5月1日より新元号令和となり、平成から令和へと新たな旅立ちの年度となりました。新たな時代に変革を余儀なくされ、時代はめまぐるしく変わることでしょう。時代に翻弄されることなく、会員間の調和と協力を期待します。全国各地で地震や異常気象で天候の変動も厳しいですが、「自己管理」を怠らずご自愛下さい。

最後にあかしや第83号発行にあたり、ご投稿いただきました先生・選手の方々には、心より感謝申し上げます。

(H・N)